

林さん 故郷思い熱唱

西原 台湾支援で公演



歌謡ショーのフィナーレを飾る出演者たち＝14日、西原町・さわふじ未来ホール

【西原】台湾東部の大地震で被害があった花蓮県に義援金を送ろうと、14日、町民交流センターさわふじ未来ホールで、台湾花蓮地震支援コンサート「林美伶変面歌謡ショー」がであった。

歌手の林さんは、台湾花蓮県で生まれ育ち、父親の仕事で30年前に沖縄に移住。地震で被害に遭った場所は小さい頃に遊び慣れた所だった。幸

いにも親戚の家などに被害はなかったが、故郷の町の被害の大きさに胸を痛めたという。

コンサートは町の花木「サワフジの詩」で始まり、大正琴や町内で活動する手話ダンス「うりすん」や、フラダンスの西原レファフラサークル、オペラ歌手の久保田久美子さん、宮古民謡の譜久島淳慈さん、琉舞の比嘉涼子さんが舞台上に花を添えた。

林さんは、中国四川省川劇の伝統芸能「変面」で、一瞬で仮面を変える秘技を披露。舞台から降りて目の前で変面し観客を魅了した。

舞台上であいさつした台北駐日経済文化代表処那覇分処処長の蘇啓誠さんは「台湾で歌手として活動する林さんは、今度の地震でいち早く支

援の手を差し伸べてくれた。県から3500万円の支援も頂いた。このたびのチャリティにもご協力くださった皆さまに感謝致します」と述べた。また、中琉婦女交流協会琉球分会会長の張本ユリ子さんは「西原町や出演された皆さんにもご協力いただき、大変感謝しております。花蓮の早期復興を願います」と義援金を蘇さんに手渡した。

林さんは娘の友達だという那覇市在住の西銘サキさん(85)と久高正子さん(82)義姉妹は「美伶さんの変面はすごいね。オペラは神秘的な声で素晴らしいかったし、琉舞もすてきな衣装で良かった。宮古民謡のクイチャーも踊りそうだったよ」と笑った。

(玉那覇隆子通信員)

第3種郵便物認可

王亮

王求

糸斤

幸辰

台湾地震支援へ「変面」披露

観客席に降りて変面を見せる林美伶さん(14日、西原町さわふじ未来ホール)



林さんが慈善ショー 西原

【西原】2月に台湾東部花蓮県で発生した地震の被災地を支援するコンサート「林美伶変面 歌謡ショー」が14日、西原町さわふじ未来ホールで開催された。被災地は林さんが小学校のころ住んでいた所で、とても心を痛めたという。林さんは「さまざまなチャリティーに参加してきたが、ふるさと花蓮のために初めて」と話した。

披露した。

中盤、主催者の中琉婦女

オープニングは、西原町ゆかりの「サワフジの詩」を林さんの唄と石川静枝さんの大正琴、手話ダンス「うりずん」のメンバーが



交流協会琉球分会の張本ユリ子会長から台北駐日経済文化代表処那覇分処の蘇啓誠処長へ義援金が贈呈された。一番盛り上がったのは林さんが龍吟天という名前で言う変面で、瞬きする間に面が変わり会場から驚きと



蘇啓誠さん(右)に義援金を贈呈する張本ユリ子さん

感嘆の声が湧き上がった。変面は、中国の伝統劇から発展した技で四川省の伝統芸能。瞬時に変わる面の仕組みは門外不出で、世界の七不思議の一つと言われている。

與那嶺力さん(70)は「変面が良かった。四川省でも見たことがあるが、負けていなくて素晴らしかった」と興奮冷めやらぬ感想を寄せた。

そのほか声楽家の久保田久美子さん、民謡の譜久島淳慈さん、琉球舞踊の比嘉涼子さん、大城洋子さん指導のハワイアンフラの西原レファとユリタカアイランダンス、手話ダンス月桃と四季が出演した。

(小波津昭子通信員)

伊是名小入学式 家庭では祝宴

新1年生は17人

【伊是名】伊是名村立伊是名小学校で10日、入学式が行われた。元気いっぱい

の新1年生17人が学校生活への期待を胸に入学した。写真。新入生の各家庭ではこちそうを用意し、お祝いが行われた。同。

伊是名では新入学のことを「ミンシ」や「アラランシ」と言

い、修学の第一歩を祝いに親族や地域の人を訪れる。

(比嘉陽子通信員)

